

岐阜中RC・岐阜東RC合同例会卓話

「論語と算盤」

～現代に通じる渋沢栄一のコトバ～

令和4年4月26日
清水建設株式会社



- 1.はじめに
- 2.渋沢栄一と清水建設
- 3.渋沢栄一の生涯と功績
- 4.「論語と算盤」の教え
- 5.おわりに



1.はじめに

2.渋沢栄一と清水建設

3.渋沢栄一の生涯と功績

4.「論語と算盤」の教え

5.おわりに





濃尾地震により破壊された旧尾張紡績の工場
[現在の名古屋市熱田区]

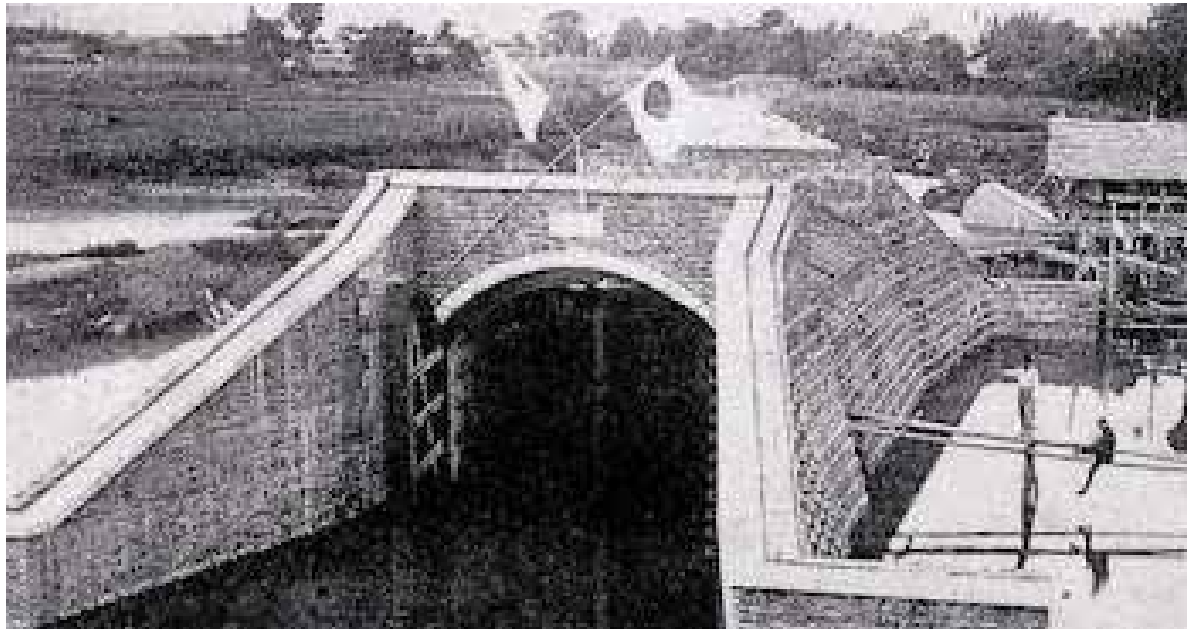
写真出典：Wikipedia

旧尾張紡績の工場
[現在の名古屋市熱田区]
写真出典：清水建設



尾張紡績復旧
1892年 愛知県名古屋市





1894(明治27)年7月
高河原閘門
(たかがわらこうもん)
[岐阜県美濃市]
写真出典：清水建設



1910(明治43)年2月
名古屋電燈(現・中部電力)長良川水力発電所
登録有形文化財/近代化産業遺産
[岐阜県美濃市]
写真出典：美濃市ホームページ



1.はじめに

2.渋沢栄一と清水建設

3.渋沢栄一の生涯と功績

4.「論語と算盤」の教え

5.おわりに





二代 清水喜助



明治5年完成 東京三井組ハウス（第一国立銀行）



渋沢栄一

明治20年から30年間
相談役として経営指導

写真出典：渋沢栄一記念財団
清水建設



清水建設の社是

「論語と算盤」

「道理にかなった企業活動によって
社会に貢献し、
結果として適正な利潤を
いただき社業を発展させる」

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設



渋沢 栄一

写真出典：渋沢栄一記念財団



1.はじめに

2.渋沢栄一と清水建設

3.渋沢栄一の生涯と功績

4.「論語と算盤」の教え

5.おわりに



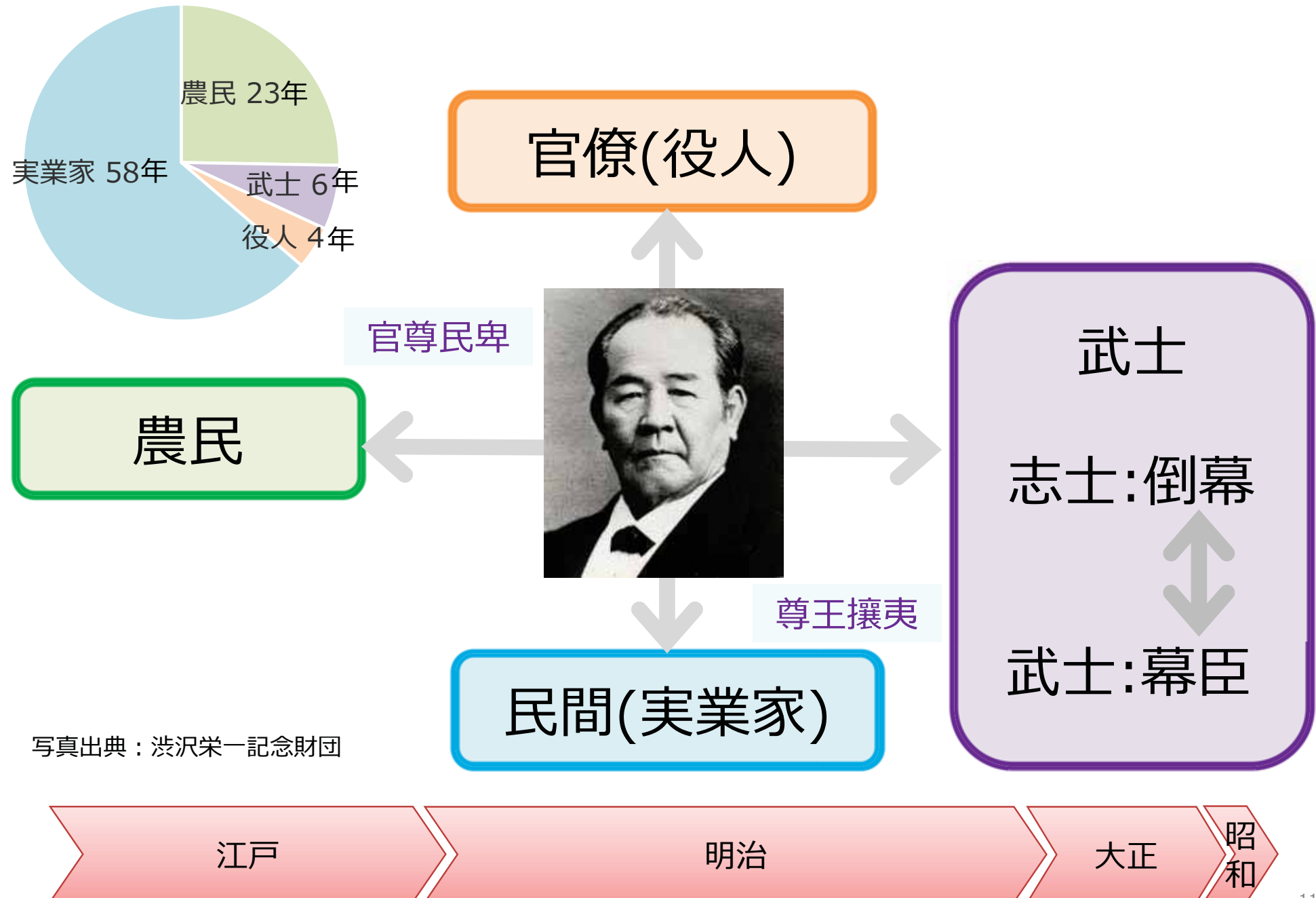
渋沢栄一の生涯

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1. 農民 | 江戸時代後期の生家で過ごした時代 |
| 2. 武士(志士) | 尊王攘夷思想の幕末青年時代 |
| 3. 武士(幕臣) | 徳川家に随行・渡欧、
大政奉還に直面した時代 |
| 4. 役人(官僚) | 大蔵官僚時代 |
| 5. 民間人(実業家) | 実業家時代 |
| 6. 社会活動家 | <u>「論語と算盤」の普及活動時代</u> |



写真出典：渋沢栄一記念財団





約500社の企業を設立。
“日本の資本主義の父”と称される。



教育、医療福祉、民間外交などに尽力。
約600の社会事業を設立。



写真出典：渋沢栄一記念財団



「論語と算盤」で商業道德の重要性を説く。



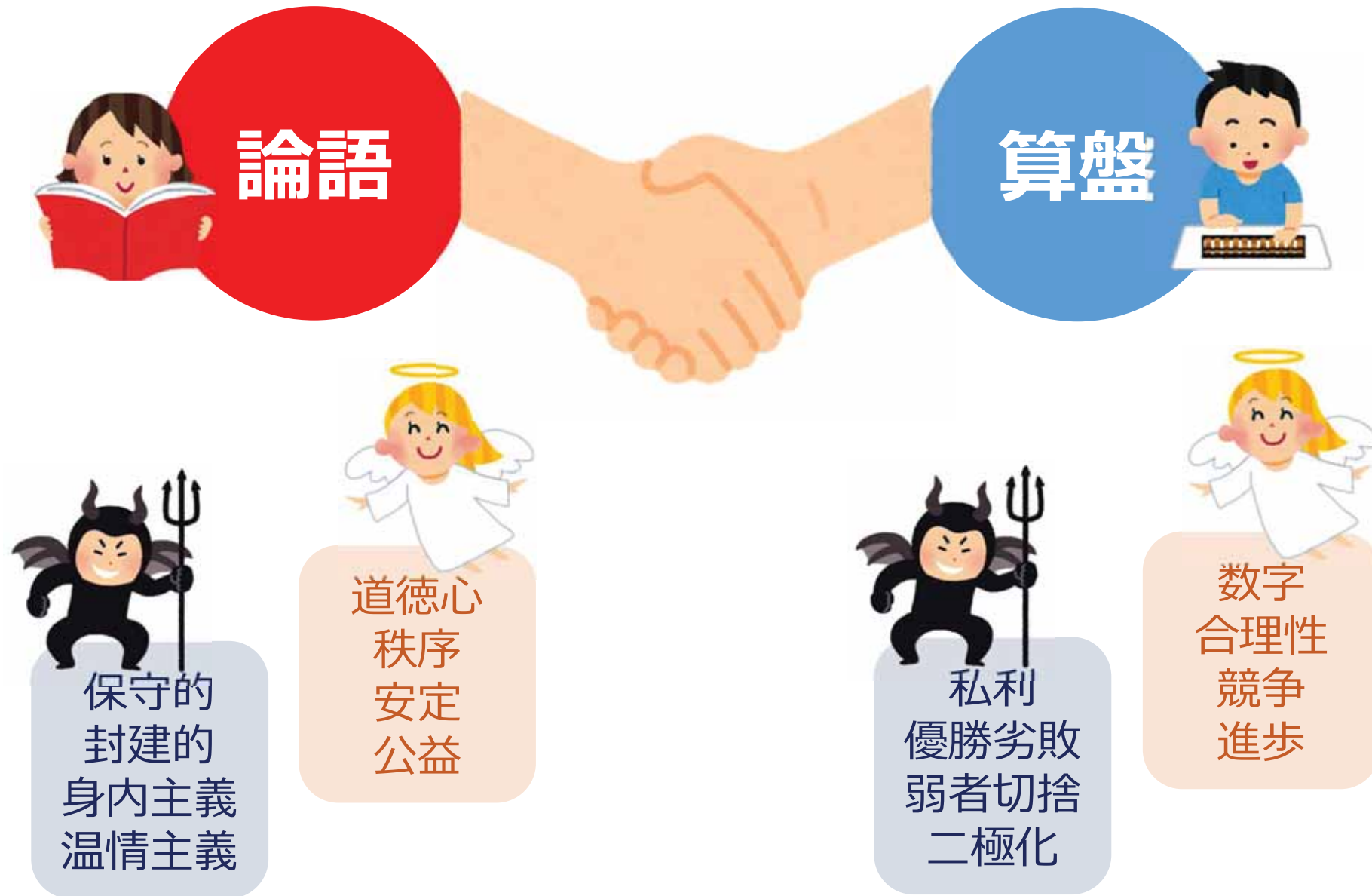
写真出典：渋沢栄一記念財団



- 1.はじめに
- 2.渋沢栄一と清水建設
- 3.渋沢栄一の生涯と功績
- 4.「論語と算盤」の教え
- 5.おわりに

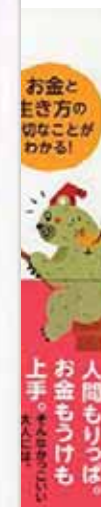
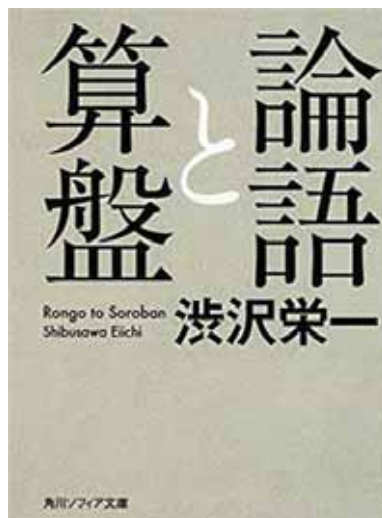






「お互いの長所でお互いの欠点を消す。」





写真引用：Amazon



渋沢6訓 『論語と算盤』より



1. 道理にかなった富なら進んで追求すべき
2. 逆境も天命と思えば心の平静を保てる
3. 毎日を新たな気持ちで理想を持って仕事する
4. 成長のもとになるのは“善意の競争”
5. わざわいは得意なときに萌してくる
6. 成功や失敗は努力した人の体に残るカス



1) 道理にかなった富なら進んで追求すべき

金儲けを品の悪いことのように考えるのは、
根本的に間違っている。

しかし儲けることに熱中しすぎると、
品が悪くなるのもたしかである。

金儲けにも品位を忘れぬようにしたい。



2) 逆境も天命と思えば心の平静を保てる

人生には常に小波瀾のあることはやむを得ない。

「どんなに頭を悩ませても結局、天命であるから仕方がない」と自分の本分を全うした結果、あきらめがつくならば、

心は平静さを保つことができるに違いない。

人生の運はすべて自分で招いた結果である。



3) 毎日を新たな気持ちで理想を持って仕事する

「慣れること」に慣れるな。

同じことを習慣にしている、
それが“精進”になればいい結果につながり
“マンネリ”になれば悪い結果しか生まない。

「もうこれで満足だ」という時は、
即ち衰える時である。
生ぬるい湯につかるな。



4) 成長のもとになるのは“善意の競争”

競うからこそ励みも生まれてくる。

競争にはモラルが必要だ。

優れたものの魂を真似よ。
真似をするときには、
その形ではなく、
その心を真似するのがよい。



5) わざわいは得意なときに萌きざしてくる

だいたいにおいて人のわざわざの多くは、
得意なときに萌してくる。
得意なときは誰も
調子に乗ってしまう傾向があるから、
わざわざはこの欠陥に喰い入ってくるのである。

成功熱に踊らされるな。



6) 成功と失敗は、自分の身体に残ったカス

成功や失敗のよし悪しを議論するよりも、
まず誠実に努力することだ。
一時の成功や失敗は、
長い人生や
価値の多い生涯における
泡のようなものなのだ。



- 1.はじめに
- 2.渋沢栄一と清水建設
- 3.渋沢栄一の生涯と功績
- 4.「論語と算盤」の教え
- 5.おわりに



論語を礎として商事を営み
算盤を執て士道を説く
非常の人 非常の事
非常の功



出典：渋沢栄一記念財団 論語と算盤図／小山正太郎画



ご清聴ありがとうございました

清水建設株式会社ホームページ

<https://www.shimz.co.jp/>

卓話担当

清水建設株式会社 名古屋支店 工務部 企画グループ
服部 里代 [Satoyo HATTORI]

 460-8580 名古屋市中区錦一丁目3番7号

 090-2538-4883

 satoyo.h@shimz.co.jp



「論語と算盤」を知るおススメ図書

① 守屋 淳 (訳)

『現代語訳 論語と算盤』

ちくま新書

2010年



② 渋澤 健

『渋澤栄一 100の訓言』

日経ビジネス人文庫

2010年



③ 井上 潤

『渋澤栄一』

近代日本社会の創造者』

山川出版社

2012年



④ 安岡 定子

『実践・論語塾』

ポプラ新書

2018年

